

市民と議会軽視するトツプダウンの王子公園売却許すな!

3月19日に神戸市会本会議がひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の西ただす議員が議案質疑に登壇しました。

質疑項目 1. 王子公園再整備事業委託契約締結について

この議案は、王子公園の再整備にあたり156億円で事業者と契約をしようとするものです。今回の再整備計画は、「大学誘致ありきではなく、王子公園や動物園をよりよくしてほしい」という多くの市民の声にまったく応えない内容となっています。西議員は「これだけの巨費を投じる事

業でありながら、(応札には)1者のみしか手はあがらず、比較・検討することもできないもとで契約を結ぶことは問題だ」と指摘し、市民の生活の一部となっている王子公園を、大学の儲けのために切り刻み、切り売りするような計画は撤回すべきと求めました。



西議員が議案質疑

かし、公表を3月14日まで遅らせ、公表する前(3月4日)に仮契約まで締結するのは議会軽視だ。

また、市長会見でも「反対しているのは極めて一部の市民」と決めつけている。9万人以上の署名を前にこのような見識が許されるのか。

久元市長：市民を代表する議会で、進めるべきという論議が大勢だ。市民の支持をいただいで進めることができていると感じている。

西議員：理解は進んでいないから反対の声は引き続き起きている。市長は、反対している人は「王子公園に対していっさい手を付けてはいけ

ない」としていると発言もあった。事実を歪めるものだ。

今西副市長：大学誘致を前提とした王子公園の整備に手をつけるなという趣旨だ。

西議員：市長は自分の考えが通らないと市民の要望をねじ曲げ、多くの市民の声を一部の反対とレッテル張りをしている。市長はかつて「ノスタルジーに浸っているわけにはいかない」と言われたが、署名した市民はノスタルジーで頑張ってきたわけではない。市民が体を動かし、日常的に愛着を持って使っていた王子公園を、大学誘致のために切り売りするような計画は撤回すべきだ。

答弁ダイジェスト

久元市長：応募は1者だったが、選定委員会では基準を上回る評価だった。適切に事業者を選定できた。

西議員：西市民病院の建て替えは、1者では競争性が働かないなどの理由で入札を見送ったのではないか。

今西副市長：設備事業者の確保と物価高騰が課題だ。病院は大規模な設備を有するが王子公園では比較的設備の割合が低い。西市民病院とは事情が違う。

西議員：市民にとって大切な施設であり、その質を担保するという考えは同じだ。事業者の落札は2月5日だったが、事業内容が公表されたのは3月14日の市長会見だった。40日間もの間、議会にも市民にも知らせなかったが、隠して進めていたと言われている。隠して進めていたのではないかと感じる。

今西副市長：学識経験者と

の調整に時間を要した。

西議員：入札説明書では2025年5月議会の議決を経て本契約としていた。その日程も勝手に変え、しかも40日間公表を先延ばしにして市民の陳情・請願権を奪い、総括質疑の翌日に事業内容を明らかにするのは不誠実だ。

今西副市長：不誠実とは全く思わない。早く事業が執行できるので、良かったと思っている。私たちは努力している。

西議員：代表質疑や予算特別委員会では我が会派だけでなく他会派も質疑したが、実際には事業内容はもう決定していた。この議論は一体何だったのか。

小松建設局長：仮契約は3月4日におこなったが、審議を経て本契約に至るので手続きは妥当だ。

西議員：入札説明書では、2月に落札と公表を一緒におこなうとなっていた。し

王子公園「売却」
住民監査請求・訴訟

市民集会

4月29日(火・休)14時～

事前予約不要・
入場無料

王子動物園ホール(開場13時30分)

主催 王子公園一部売却撤回住民訴訟原告団

日本共産党市会議員団・味口としゆき議員が市会論戦について報告します

3月3日

実態に合わない港湾整備への 大規模投資は見直せ 港湾局審査で赤田かつのり議員



質問する赤田かつのり議員

神戸市は、神戸港への集荷や高規格コンテナターミナル等の整備等へ165億円を計上するなど、毎年多額の投資をおこ

ジェンダー平等を求めるムーブメントが高まるなか、厚労省は2026年に管理職に占める女性比率の公表を義務化します。現在301人以上の従業員の企業に義務付けている男女賃金格差の公表も対象が101人以上に広がります。朝倉議員は、男女格差是正のために公表とともに是正計画の策定を求めるべきと質しました。

答弁ダイジェスト

村田地域協働局男女共同参画センター所長：女性は出産や子育てなどの影響で格差が出る。市に法的な権限がないので

3月4日

介護保険制度の充実、介護人材 確保のため神戸市として予算をふやせ 福祉局審査で森本真議員



質問する森本真議員

いま、介護保険制度は危機的な状況です。利用者やご家族の尊厳と暮らしを守る制度への抜本的な見直しが必要です。

予算特別委員会審査から②

1. 神戸港中期計画の見直しについて
 - ・ウォーターフロント再開発について
 - ・戦略港湾について
2. 神戸空港の「国際化」について

質疑項目

ない、ターミナル整備を推し進めています。赤田議員は、国際物流の情勢とともに神戸港をめぐる状況も変わっており、投資のあり方を見直すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

小嶋副局長：船会社のニーズに対応した形で整備を進め、現に1万3000TEUの船が就航している。投資は間違っていない。

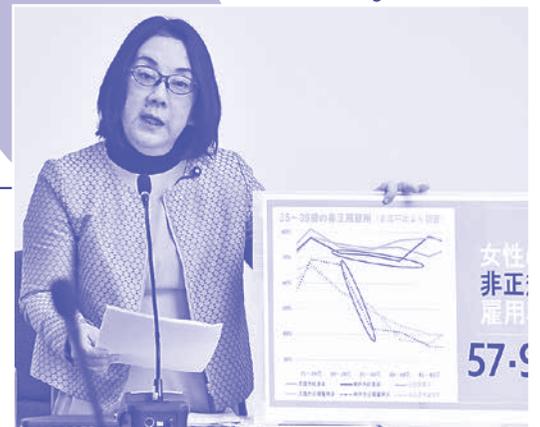
赤田議員：アジア方面は伸びているが北米やヨーロッパ航路は大幅に減っている。神戸港のシェアが下がってきている。

小嶋副局長：震災後、各国で港湾整備が進み、東南アジアなどから北米へ直行便が出るようになった。事業者の事業を成り立たせていくためにはグローバルサプライチェーンが必要不可欠だ。基幹航路の維持拡大は目指していくべきだ。

赤田議員：大型船舶の入港を見込む大水深のコンテナターミナルは、北米・欧州航路の利用はわずかであり整備に見合っていない。岸壁の大水深化は必要ない。投資について根本的見直しをおこなうべきだ。

3月4日

女性正規職員増員し、市が 率先して男女格差の是正を 地域協働局審査で朝倉えつ子議員



質問する朝倉えつ子議員

1. 男女共同参画計画（第5次）の目標について
2. 震災30年の教訓を活かした職員体制の強化について
3. 地域交流センター条例について

質疑項目

調査をするのは不可能だ。

朝倉議員：女性の正規雇用を増やすことが課題だと国に求めているなら、市として真剣に是正に取り組むべきだ。

村田所長：女性活躍プロジェクトで正規雇用推進をはかっている。ミモザなどの制度を使いながら国の動きを見る。

朝倉議員：格差是正は市職員にも求められている。市の会計年度職員は女性に偏っている。フルタイムの女性の会計年度職員は希望者全員を正規職員にするよ

うに進言すべきではないか。

村田所長：公務員は民間企業とは違って試験や選考があるので難しい。

朝倉議員：市の足もとから女性職員を増やすべきだ。

1. 介護保険料負担の軽減について
2. 介護人材確保のための支援について
3. 国保料の市独自の負担軽減について
4. 国保加入者への資格確認書の送付について
5. 保護受給者への支援について

質疑項目

訪問介護の報酬が引き下げられケアワーカーが不足し、職員の低賃金も大きな問題です。神戸市は保育士・幼稚園教諭確保のために、市独自で年間6億円以上の支援をして賃金アップなど処遇待遇をおこなっています。森本議員は介護、障害者の分野で同様の施策をおこなうべきと求めました。

答弁ダイジェスト

若杉副局長：介護人材の不足は、全国的な課題だ。介護人材の確保・育成に取り組んでいる。

森本議員：介護にも一時給付金や宿舍の借上げ・奨学金の返済など、保育士確保と同程度の予算を組むべきだ。

若杉副局長：県では最大40万円を無利子で貸し付けし、県内の事業所に再就職した場合は2年間返済不要としている。財政的支援という部分で、国に対して要望していく。

森本議員：将来も神戸で働いてもらうため、神戸市がお金を出して人材を確保し、介護するなら神戸でと（制度の）中身を充実すべきだ。